

地域情報

(一社)熊本県野菜振興協会 宇城支部

普及現地情報

キュウリの環境保全型農業への取り組み

宇城地域のキュウリ栽培では、天敵資材「スワルスキーカブリダニ」の利用が普及しています。今年度から天敵利用効果をさらに高めるため、土着天敵「タバコカスミカメ」を併用したモデル展示ほを設置し、防除効果等を現地検討会で確認しました。

展示ほの結果として、「タバコカスミカメ」を併用すると、微小害虫の発生を抑制する効果があり、化学農薬（殺虫剤）のみで防除を行ってきた地域の慣行防除と比較し、約4割削減することが確認されました。

また、天敵講習会等の開催により、生産者の土着天敵利用に対する意欲が高まり、生産者同士での意見交換も活発に行われています。

農業普及・振興課では、今後とも関係機関と連携し、環境にやさしい農業と生産者の所得向上に向けて、天敵利用に関する技術指導に取り組んでまいります。

※土着天敵・・・ほ場やその周辺（自然界）に生息する益虫。

※微小害虫・・・ウイルス病である、キュウリ黄化えそ病、キュウリ退緑黄化病のウイルスを保毒するミナミキイロアザミウマ、タバココナジラミ。



写真：花に確認されたタバコカスミカメ、現地検討会の様子